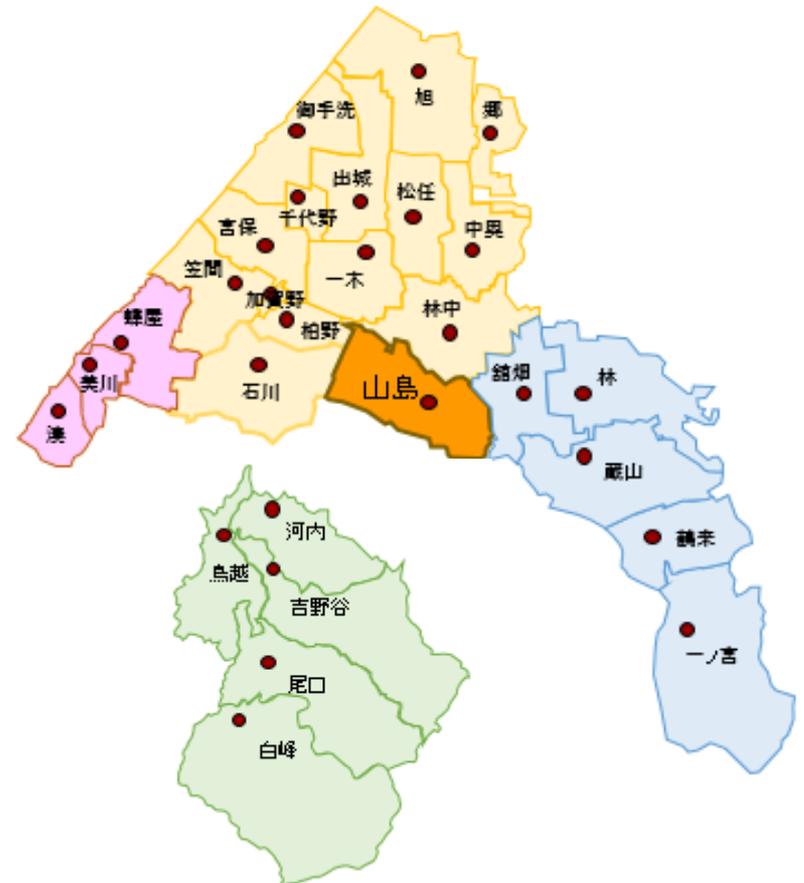


モデル地区活動報告 山島地区

山島地区

- ・ 地 域 松任地域
- ・ 人口（※R1.12） 2, 9 6 3人
- ・ 人口増減率 △14. 3%
- （※H17.12→R1.12）
- ・ 高齢化率 30. 0%



モデル地区活動報告 山島地区①

設立準備会

(1) 構成団体

町内会長会、公民館、老人会、壮年会、青年部
体育協会、地区社会福祉協議会、交通安全協会
美しいまちづくりの会、新しいまちづくりの会

(2) 役員

会長：町内会長会会長 副会長：老人会、壮年会、青年部
監事：美しいまちづくりの会
事務局：公民館長、町内会長会

モデル地区活動報告 山島地区②

主な経緯と今後のスケジュール

3月 モデル地区申請

6月 地区説明会（モデル地区賛同 10 団体）

7月 設立準備会の設立

8月 地区説明会（10 団体+9団体）

・活動実態調査依頼

10月 美しいまちづくり運動実施予定

2月 地区住民への周知

3月 設立総会の開催

モデル地区活動報告 山島地区③

今後取り組んでいきたいこと

- ・ 美しいまちづくり運動
- ・ 防災防犯活動

※市民提案型まちづくり支援事業を発展

モデル地区活動報告 山島地区④

苦労していること

- ・ 組織ごとの理解度にバラつきがある
- ・ 各組織の縦割り意識が強い
- ・ 若い世代や女性の参画

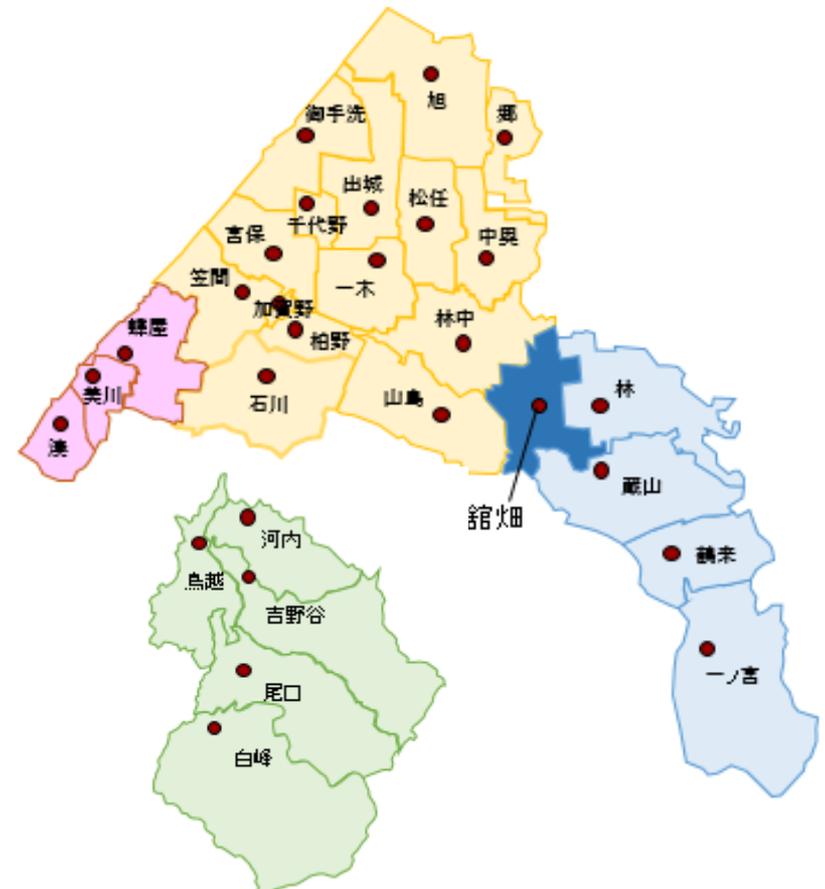
工夫していること

- ・ 具体的な行動指針を示し、事業を実施していく中で理解を深めていく。

モデル地区活動報告 館畑地区

館 畑 地 区

- ・ 地 域 鶴来地域
- ・ 人口 (※R1.12) 4, 7 3 3 人
- ・ 人口増減率 $\Delta 1. 6\%$
(※H1 7. 1 2 → R1. 1 2)
- ・ 高齢化率 2 7. 4%



モデル地区活動報告 館畑地区①

設立準備会

(1) 構成団体

町会長協議会、公民館、公民館運審、壮年会、老人会
民生委員児童委員、消防分団、交通安全協会、
じょんがら普及振興会、JA地区運営委員会
学識経験者など

(2) 役員

会 長：町会長協議会 副会長：町会長協議会、公民館運審

監 事：壮年会、学識経験者

事務局：公民館

モデル地区活動報告 館畑地区②

主な経緯と今後のスケジュール

R2 4月 モデル地区申請検討

6月 モデル地区申請

7月 町会長協議会説明会

第1回準備会（準備会組織の構成、スケジュール等）

9月 第2回準備会（準備会予算、試行的事業の説明）

10月 第3回準備会（広報、町会・団体の課題、試行的事業）

R3 1月 第4回準備会（勉強会、次年度事業の企画）

）

R4 4月 設立総会（予定）

モデル地区活動報告 館畑地区③

今後取り組んでいきたいこと

- ・ 当地域は公民館が主体となって地域の活性化に取り組んできた。昭和40年代から新興住宅が増え7割が新しい住民となっている。今後地域の活性化・融和を図るうえで地域の理解を高め、交流を深める対策・事業を推し進めていく。
- ・ 広報、地域の課題の共有、試行的事業

モデル地区活動報告 館畑地区④

苦勞していること

- ・ 始まったばかりなので、産みの苦勞中。あとは未知数。

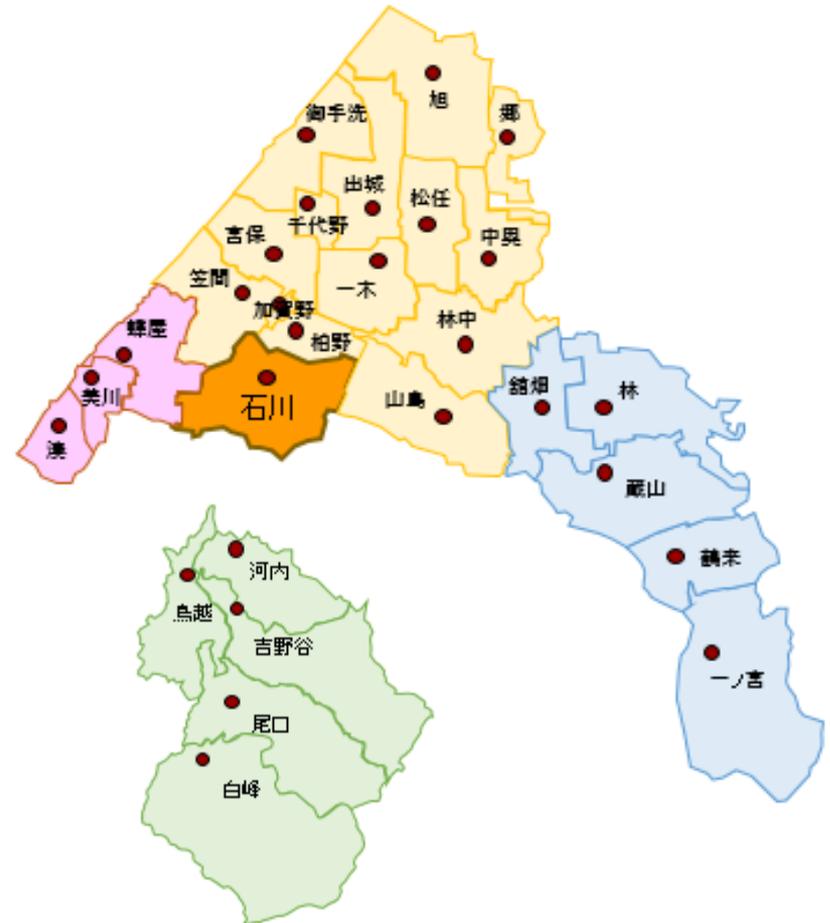
工夫していること

- ・ 市民提案型まちづくり支援事業で育成した地域芸能を柱に据え、地域の融和と活性化を図る。

モデル地区活動報告 石川地区

石川地区 (現状を知る)

- ・ 地 域 松任地域
- ・ 人口 (※R1.12) 4, 5 3 9 人
- ・ 人口増減率 △ 0. 2 %
(※H1 7. 1 2 → R 1. 1 2)
- ・ 高齢化率 2 6. 2 %



(過去を知る)

モデル地区活動報告 石川地区①（未来を語る）

設立準備会

(1)名 称 (案)

イシカワ・コミュニティ・クラブ
(石川地区まちづくり協議会)

(2)役 員

令和元年度の町内会長会

(3)協力団体

地区振興会（各種団体）、町内会長会、公民館

モデル地区活動報告 石川地区②（今後取り組むこと）

主な経緯と今後のスケジュール

R2 3月 モデル地区申請

6月 地区説明会

6~9月 設立準備会設立に向けての準備

9月 設立準備会の設立

10月~各種団体モデル地区説明会、各種団体活動実態調査

ホームページ・SNS作成

R3 1月 各種団体への進捗状況説明

2月 地区住民への周知

3月 組織設立総会

モデル地区活動報告 石川地区③（今取り組んでいること）

今後取り組んでいきたいこと

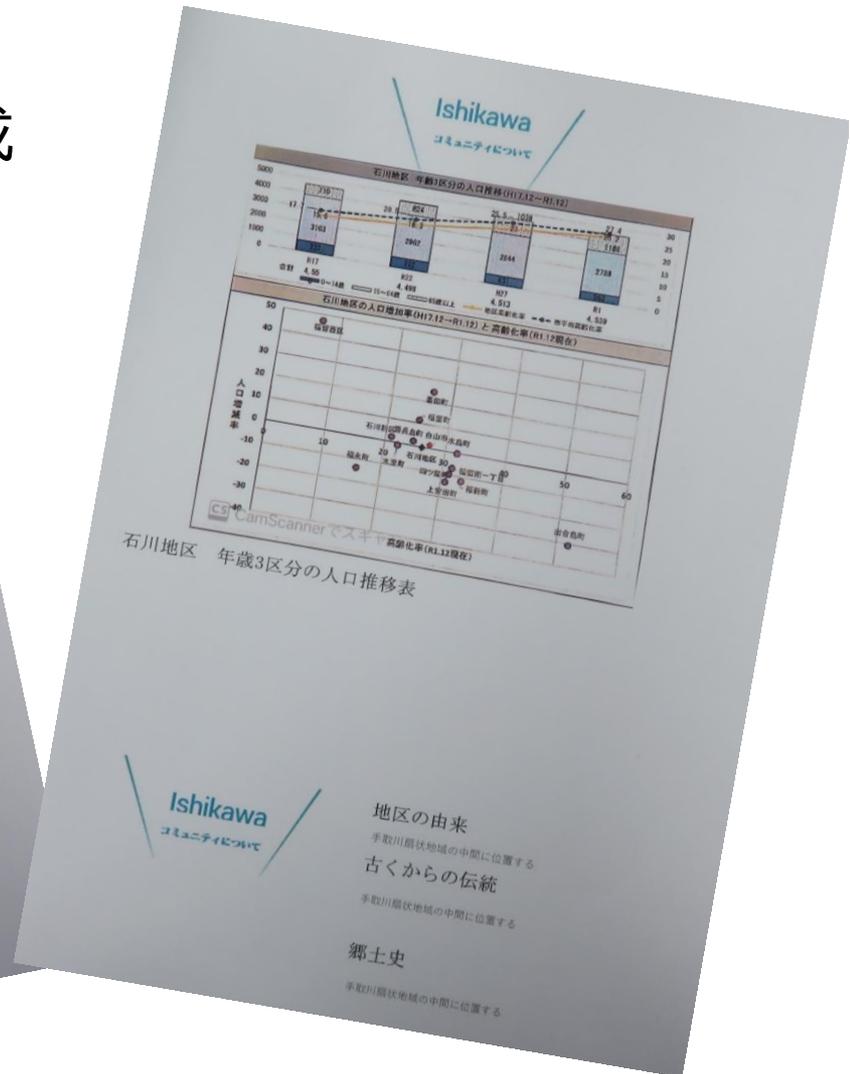
- ・ ホームページ、SNSの作成



モデル地区活動報告 石川地区③（今取り組んでいること）

今後取り組んでいきたいこと

- ・ ホームページ、SNSの作成



モデル地区活動報告 石川地区④

工夫していること

- ・ 現状を知る（分析する）
- ・ 過去を知る（歴史に学ぶ）
- ・ 未来を語る

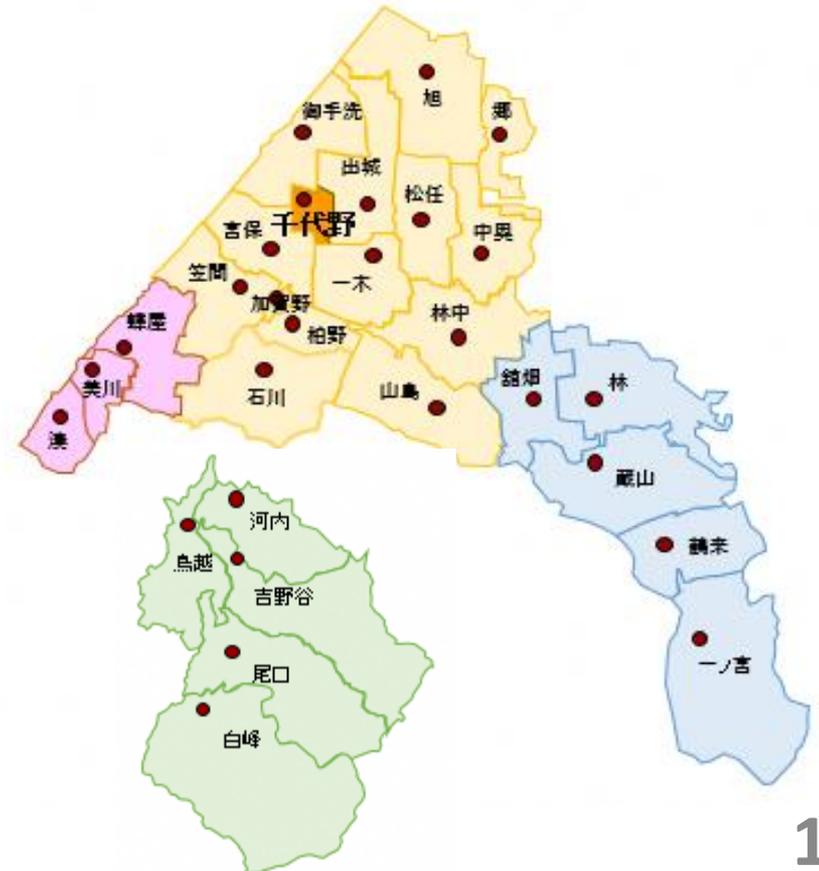
苦労していること

- ・ 過去からの活動実績と既存組織で地区活動ができていること
- ※地区が少子高齢化、人口減（具体的にこども園や石川小学校、市職員の減少）でも、高齢者が増えてもこんな時代だから、各地区同じだから、なんとかやれるから、これからも大丈夫と思う考えで、今そんなことをしなくてもいい。

モデル地区活動報告 千代野地区

千代野地区

- ・ 地 域 松任地域
- ・ 人口（※R1.12） 5, 4 8 4 人
- ・ 人口増減率 △ 1 5. 4 %
 （※H1 7. 1 2 → R 1. 1 2）
- ・ 高齢化率 3 7. 6 %



モデル地区活動報告 千代野地区①

設立準備会

(1) 構成団体

町内会連合会、防犯協会、交通安全協会、消防分団
防災委員会、体育協会、地区社協、民生委員児童委員、
老人会、文化協会、まつり保存会、千代野音頭保存会
PTA、こども会など20団体

(2) 役員

会長：町内会連合会 副会長：公民館運審、防犯協会

監事：民生委員児童委員、老人会

事務局：町内会連合会、町内会連合会OB、公民館

モデル地区活動報告 千代野地区②

主な経緯と今後のスケジュール

- R1 12月 千代野将来ビジョン策定
- R2 3月 検討会、各種団体説明会、モデル地区申請
- 6月 各種団体に設立準備会委員の推薦を依頼
- 7月 第1回設立準備会（各種団体にアンケート）
- 8月 地区勉強会（各種団体で意見交換）
- 第2回設立準備会（活動、名称、規約案を協議）
- 9月 第3回設立準備会（組織案、事業計画案等を協議）
- 10月 第4回設立準備会（役員案、設立総会議案等を協議）
-
- 10月 コミュニティ組織設立総会（予定）

モデル地区活動報告 千代野地区③

今後取り組んでいきたいこと

(令和2年度)

- ① 広報プロジェクト
 - ・ ホームページ、広報紙の作成
- ② 人材発掘プロジェクト
 - ・ アンケートの実施、意見交換会の開催
- ③ 事業検討プロジェクト
 - ・ 新規事業検討、既存事業の見直し

(令和3年度以降)

- ・ アンケート結果を踏まえた新規事業
- ・ 見直した既存事業の新しいコミュニティ組織による運営

モデル地区活動報告 千代野地区④

苦勞していること

- ・ 地域住民（会員）への周知・広報（新組織の必要性の理解）
- ・ 若い人たちや女性への参加呼びかけ
- ・ 新しい生活様式を踏まえての事業の企画立案
- ・ 公民館及び既存団体との関係の整理

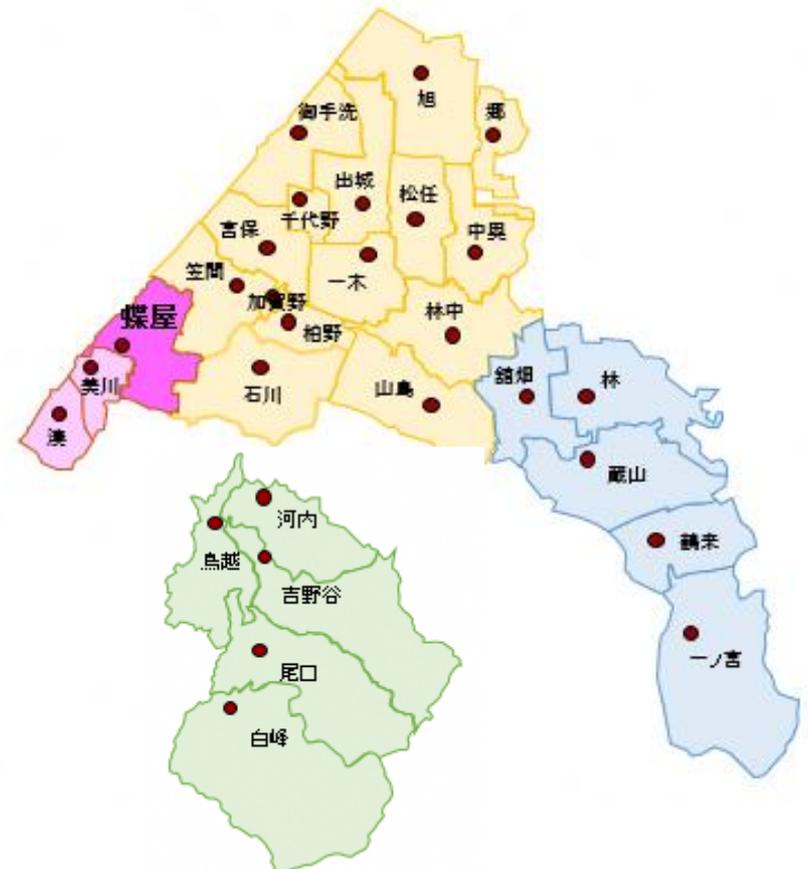
工夫していること

- ・ 千代野将来ビジョンの活用と策定に関わったメンバーの連携
- ・ 豊岡市地域コミュニティHPの活用
- ・ LINEの活用（準備会、事務局の連絡調整）
- ・ 設立準備会運営の信頼性確保（意見・要望への迅速対応）

モデル地区活動報告 蝶屋地区

蝶屋地区

- ・ 地 域 美川地域
- ・ 人口（※R1.12） 5, 8 3 6 人
- ・ 人口増減率 △ 2. 3 %
 （※H1 7. 1 2 → R 1. 1 2）
- ・ 高齢化率 2 2. 2 %



モデル地区活動報告 蝶屋地区①

設立準備会（案）

(1) 構成団体

地区区長会、地区社協、防犯協会、体育協会、消防分団
小学校育成会、こども園保護者会、老人会、見守り隊
桜守の会、民生委員児童委員連絡会、じょんがら保存会
公民館

(2) 役員

10月17日の準備会立ち上げ会議で決定する。

内容は地区区長会役員といくつかの団体が主体となり、
公民館は事務局を担当する予定

モデル地区活動報告 蝶屋地区②

主な経緯と今後のスケジュール

R2 6月 まちづくり組織検討会への市からの説明会実施

6月 地区説明会で各種団体からモデル地区申請の承認を受け
申請を実施（6月25日モデル地区に決定）

7月 検討会（設立準備会立ち上げ協議）

8～9月 各種団体への市からの説明会4回実施

10月 第1回設立準備会（準備会規約、役員決定、スケジュール）

11月 第2回設立準備会（地区カルテの作成とまちづくりの検討）

R3 1月 第3回設立準備会（名称、組織、規約案の提案と意見交換）

3月 第4回設立準備会（名称、組織、規約決定）

モデル地区活動報告 蝶屋地区③

今後取り組んでいきたいこと

- 1、防災組織の設立
- 2、地区内の各団体の問題点・課題の発掘（地区カルテ）
- 3、まちづくり組織の内容についての地区への周知活動
- 4、若者、女性の参加を促し、その意見を取り入れて行く
- 5、町内会毎の子供会、自衛消防隊の地区での組織化
- 6、まちづくり組織と公民館の連携の強化

モデル地区活動報告 蝶屋地区④

苦労していること

- ・ 住民の力だけで運営できるか不安が多い。
- ・ 初めてのことなので手探り状態で進めている現実である。
- ・ 地区住民がこのまちづくりについてどの程度理解しているか協力的なのかよくつかめない。
- ・ 若い人の参加をどうやって進めるか難しい面がある。

工夫していること

- ・ この活動についてできるだけ地区の団体や住民との打ち合わせを行い意見の調整を取りながら進めている。

モデル地区活動報告 白峰地区

白 峰 地 区

- ・ 地 域 白山ろく地域
- ・ 人口 (※R1.12) 7 4 1 人
- ・ 人口増減率 $\Delta 34.6\%$
(※H17.12→R1.12)
- ・ 高齢化率 43.9%



モデル地区活動報告 白峰地区①

地域コミュニティ組織

(1) 構成団体

- ・ NPO法人白峰まちづくり協議会が中心を担う
（※地区内のすべての団体が加入）
- ・ 白峰区、桑島区
- ・ 公民館

※まちづくりの課題を協議する専門組織を設置

(2) 役 職

（※NPO法人と同じ）

モデル地区活動報告 白峰地区②

主な経緯と今後のスケジュール

R2 4月 モデル地区申請

6月 コミュニティ組織の規約等の検討

7月 コミュニティ組織の規約等の案決定

8月 白峰・桑島区役員に説明

11月 白峰まちづくり協議会理事会で報告

年内 コミュニティ組織設立

モデル地区活動報告 白峰地区③

今後取り組んでいきたいこと

- ・ 地域課題の解決

過疎化・高齢化・少子化に伴う地域課題

(身近なところから)

地域コミュニティの維持

モデル地区活動報告 白峰地区④

苦勞していること

- ・ 地区の課題を認識していなかったこと
- ・ 人口が少ないため役職を掛け持ちすること

工夫していること

- ・ 若者を中心にしたプロジェクト活動
(コミュニティ組織が応援)
- ・ 地区外の人たちとの連携
(力を借りる)